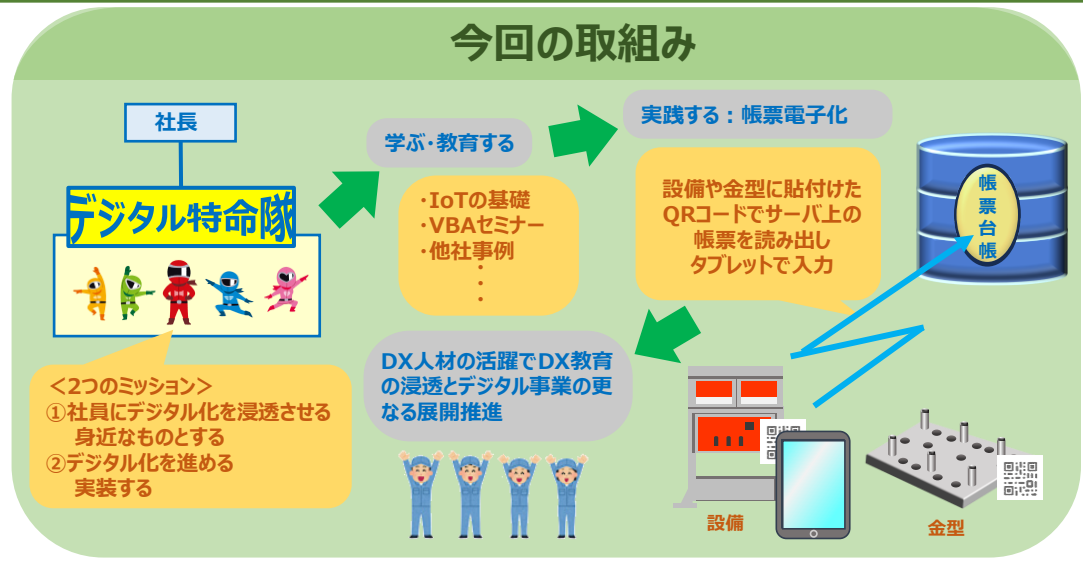


高橋金属株式会社「タブレット端末を用いた帳票電子化とデジタル技術の浸透」

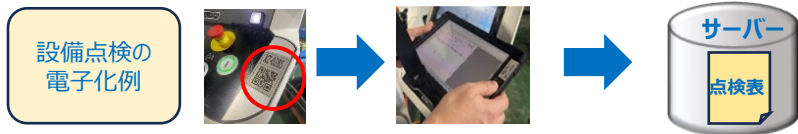
紙中心の「アナログ」業務運用がまだまだ多く、「デジタル」というものに抵抗感がある社員も少なくない現状で、今期より、異なる間接部門から「**社員へのデジタル化浸透**」と「**デジタル化実装**」というミッションを与えられた「**デジタル特命隊**」という5人組の組織を中心に全社員へのデジタルスキルの向上に取り組む。マクロ・VBAの外部研修も活用し、育成された**DX人材がリーダーシップ**を取り、社内へDX教育と推進を行うことで、**社員のITスキル底上げ**を図る。DX人材を中心にQRコードを使った設備・金型の個体識別や日常点検集計・金型管理帳票のマクロ作成等の**開発を自社完結**で行う。このシステム開発で、これまで現場作業員が紙媒体で作成していた「**設備の日常点検**」と「**プレス金型台帳**」の管理を、タブレット端末とQRコードを用いてサーバ上でデジタル管理を行えるようにする。これにより**紙、インク等資源の大幅削減**、運用プロセス変更による**帳票管理時間の大幅な削減**、**帳票保管に関するリスク軽減**等大きな効果が期待できる。



成果

■「設備管理・点検システム」を開発

- 電子化（電子入力）に対応できる設備点検表、金型台帳を改定
設備点検表 … 180/180 金型台帳 … 1200/7120
- 設備点検表/金型台帳をファイルサーバーへ保管
- 設備/金型毎にIDを割付し、リンク用QRコードを発行して個体管理



■取組み効果

- ペーパーレス化による紙資源削減：180枚×12ヶ月＝**2,160枚/年間**
- 管理運用工数削減：[90分(発行)+30分(配布)+30分(回収)+90分(チェック・抽出)]×12ヶ月＝**2,880分/年間**
- 保管スペース削減：日常点検表保管箱：**3箱/年間** + 金型管理台帳：**4冊**
- その他、アラート通知や集計自動化による管理工数削減やトレーサビリティ向上が実現

DX人材育成と今後の展開

<DX人材育成>

- Excelマクロ VBA基礎の外部研修受講（8名）
※マクロとVBAの概念/モジュールとプロシージャ/VBAの構文/変数/セル操作/ステートメント/関数/ブックとシート操作デバック/マクロ実習/演習等

<今後の展開>

- 設備点検帳票と金型台帳より電子化をスタートしたが、今後は他の帳票類へ展開（QMS,EMS規定・標準資料など）
- 生産情報や設備データ等の統合管理を目的とした設備のIoT化を推進し、生産情報可視化並びに生産データ利用促進をし、デジタル技術によるモノづくりの進化を追求
- デジタル人材育成については、実際の業務のデジタル化による課題解決をOJTで行うことで実践力や活用力を養う
さらに、デジタル化推進に伴う社員のスキル向上により、社内研修でさらなるスキルレベルを上げるスパイラルアップの取組みを通して「**自律的に学ぶ**」**土壌づくり**を維持継続する